



KVR形 真空チャック VACUUM CHUCKS

非鉄・弱磁性関連

角形
マグネット
チャック
丸形
マグネット
チャック

複合機能

非鉄・弱
磁性関連

特化機能

電装品

補助具/
保持具

リフティング
マグネット

電磁
ホルダ

搬送用
マグネット
機器

処理搬送/
環境機器

脱磁機器/
着磁機器

工具/
機器

産廃処理・
資源循環

食品・
医薬品
異物除去

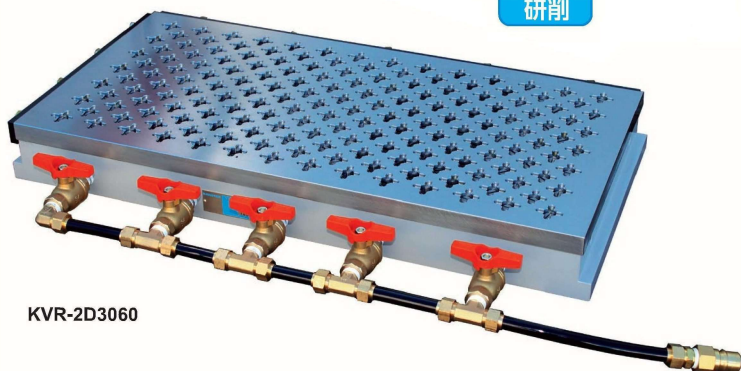
磁気測定

磁性材料

KVR-D形 (ネジバルブ式)

- ネジバルブとバルブの組合せ調整により、ワークの形状に合わせて、圧着面積の効果的な選択ができます。
- 圧着面に十字形の吸引溝を設けてあるので、ネジバルブの数が少なく、能率的です。

別途真空源装置要



KVR-2D3060

用途

大気圧を応用した圧着保持装置です。非鉄金属をはじめ非磁性材のワークを圧着し、工作機械による加工作業に応用できます。プラスチックの研削及び切削作業、アルミ、黄銅、ステンレス、セラミック、ガラス等の研削作業が適します。

特長

- チャック作業面の吸入孔は、ネジバルブとバルブの組合せ調整により、ワークの形状に合わせた圧着面積の効果的な設定ができます。
- 吸入孔には十字溝を設け、作用範囲を広げてあります。従って全体的にはネジバルブが少なく、能率的です。
- チャック作業面が鉄製のため平行度出しのためのセルフグライディングが可能です。
- チャック作業面が鉄製のためワークストップ等にマグネット器具を併用できます。
- ワークや作業手順に合わせた、吸入孔レイアウトの特殊なアダプタを取り付けることも可能です。
- マグネットチャックに載せて使用できます。
- チャック内部に発熱源や可動部が無く、高精度加工ができます。

形式 Model	呼び寸法 Nominal Size	チャック作業面 Work Face					模様間隔 Hole Pitch	チャック取付部 Mounting Face			高さ Height	配管部 Piping Part		質量 Mass	適用真空源装置 Applicable Vacuum System
		B ₁	L ₁	t	B _e	L _e		B ₂	L ₂	h		A	ボールバルブ		
KVR-2D1018	100×175	100	175	60	120	80	200	96	195	20	70	28	なし	9kg	VPU-E10 VPU-E20
KVR-2D1325	125×250	125	250	80	200	121	270	170							
KVR-2D1515	150×150	150	150	100	220	146	320	170	20	70	84	あり	11kg	VPU-D20 P38	
KVR-2D1530	150×300	150	300	100	220	146	320	170							
KVR-2D1545	150×450	150	450	100	220	146	320	170	20	70	84	あり	35kg	VPU-E20 VPU-D20	
KVR-2D2035	200×350	200	350	160	440	196	520	370							
KVR-2D2050	200×500	200	500	160	440	196	520	370	20	70	84	あり	49kg	VPU-E20 VPU-D20	
KVR-2D3060	300×600	300	600	240	520	296	620	620							

※クランプ金具が付属します。

KVR-H形 (小孔式)

- 圧着面の模様は、φ4の穴が8mmピッチにあっています。



KVR-H1530

用途

大気圧を応用した圧着保持装置です。非鉄金属をはじめ非磁性材のワークを圧着し、工作機械による加工作業に応用できます。プラスチックの研削及び切削作業、アルミ、黄銅、ステンレス、セラミック、ガラス等の研削作業が適します。

特長

- チャック作業面が鉄製のため平行度出しのためのセルフグライディングが可能です。
- チャック作業面が鉄製のためワークストップ等にマグネット器具を併用できます。
- ワークや作業手順に合わせた、吸入孔レイアウトの特殊なアダプタを取り付けることも可能です。
- マグネットチャックに載せて使用できます。
- チャック内部に発熱源や可動部が無く、高精度加工ができます。

形式 Model	呼び寸法 Nominal Size	チャック作業面 Work Face					模様間隔 Hole Pitch	チャック取付部 Mounting Face			高さ Height	配管部 Piping Part		質量 Mass	適用真空源装置 Applicable Vacuum System
		B ₁	L ₁	t	B _e	L _e		B ₂	L ₂	h		A	ボールバルブ		
KVR-H1018	100×175	100	175	56	128	80	200	96	195	20	70	28	なし	9kg	VPU-E10 VPU-E20
KVR-H1325	125×250	125	250	88	208	121	270	170							
KVR-H1515	150×150	150	150	112	220	146	320	170	20	70	84	あり	11kg	VPU-D20 P38	
KVR-H1530	150×300	150	300	112	220	146	320	170							

※クランプ金具が付属します。

〈ご使用に際して〉

真空チャックは、チャック内部を真空ポンプによる排気で減圧し、大気圧によってワークを圧着保持する構造の装置です。従って圧着力は、大気圧との気圧差と圧着面積によって決まります。物理的諸制約から、獲得できる排気の効率上限を見越した上で、ポンプにより得られる気圧差は約80kPa (600mmHg) 前後です。圧着力としては、同じ約80kPa (0.8kgf/cm²) が得られることとなりますから、例えば、圧着面積が100cm²のワークの場合は、約800N (80kgf) の圧着力で保持されるということとなります。しかし、ワークの圧着面が多少とも荒れていたり歪んでいたりすると、大気漏れが生じて圧着力が著しく低下することとなります。この場合は何らかの漏れ防止対策が必要です。ワークの材質や厚みによっては、加工摩擦による発熱で歪む場合もありますので加工方法に留意して下さい。特にステンレス薄板は加工発熱による変形が著しく、圧着維持が困難です。なお、ご不明な点は、弊社にお問合わせ下さい。

